

Special Exhibition Celebrating the Completion of Repairs to Joruri's National Treasure Amida Statues  
**Numinous Minamiyamashiro**  
*Treasures from the Mountains between Nara and Kyoto*

2023  
**7.8** | 土 | **9.3** | 日

前期展示 - 7月8日(土) → 8月6日(日) 後期展示 - 8月8日(火) → 9月3日(日)

開館時間 - 午前9時30分～午後6時(入館は開館の30分前まで)

休館日 - 月曜日(ただし、7月17日は開館)、7月18日(火)

主催 - 奈良国立博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪  
 後援 - 京都府、京都府教育委員会、木津川市、京田辺市、城陽市、井手町、  
 守治山原町、笠置町、精華町、南山城村、和束町  
 協賛 - JR東海、竹中工務店、NISSHA、福寿園 特別協力 - 京都南山城古寺の会  
 協力 - 京都山城地城復興社、日本音楽、仏教美術協会

— 奈良と京都を結ぶ  
 祈りの至宝 —

# 聖地 南山城

浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展

みなみ

やま

しろ



**奈良国立博物館**  
 NARA NATIONAL MUSEUM

左: 国宝 阿弥陀如来坐像(9軀のうちその1) 平安時代(12世紀) 京都・浄瑠璃寺[木津川市]  
 右: 重要文化財 四天王立像 鎌倉時代(13世紀) 京都・南庄山寺[木津川市]



本尊・  
 薬師如来と  
 再会!

十二神將  
 約140年ぶりの  
 里帰り。

重要文化財 南都如来坐像 平安時代(11世紀) 京都・浄瑠璃寺[木津川市] 7月9日～8月6日展示  
 重要文化財 十二神将立像のうち 阿弥陀・药师・弁天神・中・戌神 鎌倉時代(13世紀) 東京国立博物館  
 重要文化財 十二神将立像のうち 子神・丑神・寅神・卯神・辰神・巳神・午神・未神 鎌倉時代(13世紀)  
 資料 鎌倉時代 安土2年(1228) 東京・静嘉堂文庫美術館 画像提供: 静嘉堂文庫美術館/DNP.com

関連イベント

## 仏像大使トークショー

出演 - みうらじゅん氏(イラストレーター)

いとうせいこう氏(作家・クリエイター)

日時 - 7月22日(土)午後2時～3時30分

会場 - なら100年会館(奈良市三条宮前町7番1号)

定員 - 1,400名

料金 - 2,800円(税込、本展観覧券付き)

チケットのお求めはオンラインチケット(展覧会公式サイト)、ロウンチケット(Lコード:55109)、チケットびあ(伊コード:650-366)、イープラスで。座席がなくなり次第、販売終了。



みうらじゅん氏



いとうせいこう氏

本展の仏像大使に就任しました。オリジナル監修グッズの製作、音声ガイドの特別出演などの活動を行います。最新情報は展覧会公式サイトをご覧ください。

## 公開講座

第1回 7月29日(土)

「華開く仏教文化～南山城の古代寺院から」

講師 - 菱田哲郎氏(京都府立大学文学部教授)

受付期間 - 6月19日(月)午前10時～7月3日(月)午後5時

第2回 8月19日(土)

「南山城と律宗の美術」

講師 - 谷口耕生(奈良国立博物館企画室長)

受付期間 - 7月3日(月)午前10時～7月17日(月)午後5時

第3回 8月26日(土)

「聖地 南山城の神と仏」

講師 - 山口隆介(奈良国立博物館主任研究員)

受付期間 - 7月3日(月)午前10時～7月17日(月)午後5時

時間 - 午後1時30分～3時(午後1時開場)

会場 - 奈良国立博物館 講堂

定員 - 各180名(事前申込抽選制)

申込方法 - 当館ホームページ「講座・催し物」→「公開講座」申込フォームより

必要事項をご入力の上、お申し込みください(WEB申込のみとなります)。

※当選者には参加証をお送りいたします。当日必ずご提示ください。 ※詳細は展覧会公式サイト等をご確認ください。 ※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。 ※応募は各回1人1回までお願いいたします。

音声ガイド



ナビゲーター:  
 横山由依さん(女優/タレント)

横山さんは南山城地域の中心部である京都府木津川市の出身で、京都やましろ観光大使も務められています。

貸出料金 - 1台 650円(税込)

観覧料金(税込)

一般 1,800(1,600)円  
 高大生 1,300(1,100)円  
 小中生 600(400)円

※( )内は前売・20名以上の団体料金。前売券の販売は4月28日(金)から7月7日(金)まで。 ※本展は日時指定制ではありません。 ※障害者手帳またはマイリD(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)、奈良博メンバーシップ・プレミアムカード会員の方(1回目及び2回目の観覧)は無料(要証明)。 ※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は当日券を400円、同(教職員)の方は1,700円でお求めいただけます(要証明)。参加費など詳細は、奈良国立博物館ホームページなどでご確認ください。 ※観覧日に証明書・会員证などの提示が必要(一般と小学生以下を除く)。 ※観覧が滞った際は、入場を制限する場合があります。 ※本展の観覧券で、名品展(なら仏館展・青銅器展)もご覧いただけます。

【販売場所】 当館観覧券売場、近鉄主要駅、オンラインチケット(展覧会公式サイト)、ロウンチケット(Lコード:55109)、チケットびあ(伊コード:650-366)、セブンチケット(セブンコード:100-634)、イープラスなど主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど。 ※チケット購入時に手数料がかかる場合があります。 ※購入後の払い戻しはできません。 ※詳細は展覧会公式サイト等でご確認ください。

オリジナルグッズ付きチケット(アクセス)

福寿園謹製の本展オリジナルグッズと前売券のお得なセットを販売! 限定200セット

販売期間 - 2023年4月28日(金)～7月7日(金)  
 販売場所 - オンラインチケット(展覧会公式サイト)・ロウンチケット・チケットびあ・イープラス

お茶街セット券 2,200円(税込・一般のみ)  
 京都・山城地域で創業した福寿園。伝統の技術で仕上げた同社の煎茶ティーバッグ(5袋入)と前売券をセットにして販売します。パッケージは京都と奈良の県境にある南山城地域をモチーフにしたオリジナルデザインです。

※工賃に準じ次第、販売を終了します。 ※チケットに熟弊が発生した場合は、会場特設ショップでグッズのみ販売します(会場販売価格702円・税込)。 ※グッズは会期中、会場にてお買いたします。 ※デザインが変更になる場合があります。



・近鉄奈良駅下車登大路を東へ徒歩約15分  
 ・JR奈良駅または近鉄奈良駅から  
 山内循環バス回り  
 「水害神社・国立博物館」バス停下車すぐ  
 ・ぐるっとバス(奈良公園ルート、大宮通りルート)  
 「大仏殿前龍馬中場」下車、徒歩5分

展覧会公式サイト  
 @m\_yamashiro2023  
 展覧会公式サイト  
 https://yamashiro-nara.exhib.jp/

奈良国立博物館  
 NARA NATIONAL MUSEUM

〒630-8213 奈良市登大路町50 | https://www.narahaku.jp | 問い合わせ 050-5542-8600(フリーダイヤル)

木津川屈指文化財  
地蔵菩薩坐像  
平安時代(十世紀)  
京都・西教寺(木津川市)



重要文化財  
十一面観音坐像  
鎌倉時代(十三世紀)  
京都・東光寺(木津川市)



重要文化財  
薬師如来坐像  
平安時代(九世紀)  
京都・基師寺(稲原町)



よく似た如来像  
揃って展示



木津川屈指文化財  
阿彌陀如来坐像  
平安時代(九世紀)  
京都・基師寺(木津川市)

重要文化財  
首髻菩薩騎象像  
平安時代(十一世紀)  
京都・約稲寺(木津川市)



国境に  
鎮座する  
防疫の神



京都屈指文化財  
牛頭天王立像  
平安時代(十一世紀)  
京都・末智神社(京田辺市)

京都屈指の

十一面観音の巨像

重要文化財  
十一面観音立像(鎌倉)  
平安時代(十世紀)  
京都・神定寺(宇治田原町)



重要文化財  
梵鐘  
鎌倉時代(建久元年(一一九〇)  
京都・西教寺(木津川市)



京都府の最南部、奈良市に隣接する  
地域は旧国名の山城国にちなんで、  
いま「**南山城**」と呼ばれています。  
なだらかな山間を木津川が流れる風光明媚な  
地であり、仏教の伝来後、七世紀には  
この地域でも寺院の建立がはじまりました。

南山城が歴史の表舞台に登場するのは、  
聖武天皇の恭仁京造営によってであり、  
木津川への架橋や寺院の建立などに  
行基の活躍がありました。  
平城京から平安京への遷都以降も南山城は新旧両部を  
つなぐ回廊的な役割を果たす地域として、重要性を  
増すこととなります。東大寺や興福寺といった奈良の  
大寺との深い関わりのおかげで寺院があいついで建立され、

また木津川流域の山々は俗世を離れた聖地として  
山岳修験の拠点とされました。さらに鎌倉時代には  
解脫上人貞慶が、江戸時代には袋中上人がこの地域に  
足跡を残すなど、南山城は各時代を通じて  
文字どおり日本仏教の聖地でありつづけてきました。

浄瑠璃寺の本尊・九体阿彌陀像の修理完成を記念して  
開催する本展では、南山城とその周辺地域の寺社に  
伝わる仏像や神像を中心に、絵画や典籍・古文書、  
考古遺品などを一堂に展覧いたします。  
本展を通じて多様な作品の魅力が  
堪能していただくとともに、  
奈良や京都との関わりのおかげで南山城地域が育んだ  
ゆたかな歴史や文化について  
再認識する機会となれば幸いです。



京都屈指文化財  
第二世明王立像  
金剛夜叉明王立像  
平安時代(十一世紀)  
京都・万善寺(京田辺市)



不動明王二童子像  
室町時代(十五世紀)  
京都・観音寺(京田辺市)  
7月8日・8月6日開催



重要文化財  
一休宗純像  
自賛  
室町時代(十五世紀)  
京都・福徳庵(出石市)  
8月1日・9月3日開催



重要文化財  
菩薩形立像(部分)  
平安時代(九~十世紀)  
京都・常楽寺(精華町)



袋中上人坐像  
江戸時代(十七~十八世紀)  
京都・萬善寺(木津川市)

菩薩の姿をした  
祝園神社の神

